

コマンド早見表

HOLD + 1	表示の左が 1~4	バンド切り替え。
HOLD + 2	(動作で確認して下さい)	タイマー機能 (2)を参照。
HOLD + 3	表示の右が 0~3 (注)	チャンネルアップ・ダウンの指定。
HOLD + 4	表示の右が 2or3 (注)	640CH オール待ち受け (ハーフ待ち受もOK!)
HOLD + 5	表示の2番目が 5	ATIS信号カット。
HOLD + 6	表示の3番目が 6	スペシャルサーチ。
HOLD + 7	表示の4番目が 7	空きチャンネル探し。
HOLD + 8		
HOLD + 9	動作音大	
HOLD + 0	動作音小	2度で消える。
HOLD + C	スキャンスピードが速くなる。	
HOLD + MON	スキャンスピード ノーマル。	
HOLD + HOLD	相手の群番号の吸い取り。	
HOLD + REMOTE	完全ノーマル (メモリー0は消される)。	

(注) **HOLD** + **3**・**4** の表示については説明の(3),(4)を御らん下さい。

マイクのキーの機能

REMOTE	リセット中	10個のメモリーの切り替えと、待ち受け
	モニター中	チャンネル アップ・ダウン
	モニタースキャン中	バンド切り替え
	通話中	リコール (押している間中)
	送信中	リコール (押している間中)
END	リセット中	前のチャンネルからアップ又はダウンしてモニター
	モニター中	リセット
	モニタースキャン中	スキャンストップ
	通話中	リセット

SC905GII スーパーマリオ取り扱い説明書

【特徴】

- 1) 640CH オール待ち受け80CH待ち受けの切り替えが可能です。
- 2) コールされてから応答しなければ自動的にリセットします。
※ 送信後はロックします。
- 3) REMOTEキー又はEND(RESET)キーだけでチャンネルのアップ・ダウンが可能です。
- 4) 640CH を連続でスキャンします。
- 5) 相手のATIS信号を受信すると群番号を自動的に表示します。
- 6) 送・受信時の5分タイマーがカットされ、5分たってもリセットしません。
- 7) 群番号が《0000》でもリコールが出来ます。又、リコールはマイクのREMOTREキーを押せばリコールが出来ます。
- 8) リセット又はモニター中、マイクの……
ENDキー …… リセット、モニターを繰り返しながらチャンネルをアップ又はダウンします。
REMOTEキー… MON 中、チャンネルをアップ又はダウンします。
- 9) モニター状態からマイクの P.T.T. を押せば送信出来ます。
- 10) 特殊群番号が設定出来ます。

例) 群番号消去 …… C + CCCCC
中抜け群番号 …… C + 1C3C5

(枠の中の《C》の位置が表示されない。)

- 11) リセット中にマイクのREMOTE キーによりメモリーした群番号を順に表示出来ます。
- 12) チャンネルをダイレクトに設定出来ます。

C + 2 + 5 + MON …… 25CHに移ります。

- 13) 1～8局待ち受けが出来ます。メモリー1から8に、待ち受けしたい群番号を記憶させて待ち受けしたい数のメモリーの群番号を表示させれば、1からそのメモリー数までの待ち受けとなります。

さらに、メモリー9の群番表示で呼び出し・リコールを行っているすべての局を待ち受けが出来ます。(メモリー0の表示で待ち受けなし。)

例) メモリー3の群番号を表示 …… 1～3の待ち受け。

【スペシャル機能の説明】

XXXXXXXXXX HOLD + M = スペシャルモードに移ります。

- (1) バンドの切り替え。

HOLD + 1 …… 押すたびに表示の左が“1～4”に変わります。

- | | | |
|------|------------|----------------------|
| 1・・・ | ノーマルバンド | 903.0375 ~ 905.0 MHz |
| 2・・・ | ダウンバンド | 901.0375 ~ 903.0 MHz |
| 3・・・ | ダブルダウンバンド | 899.0375 ~ 901.0 MHz |
| 4・・・ | トリプルダウンバンド | 897.0375 ~ 899.0 MHz |

例) HOLD + 1 = 2 0 …… ダウンバンドに移りました。
(右の 0 は後で説明します。)

マイクのREMOTEキーによりスキャン中にバンドを切り替えることができます。
REMOTEキーを押すたびに下のようになります。

→ ノーマル → ダウン → ダブルダウン → トリプルダウン

(2) タイマー機能

HOLD + **2**

群番指定で呼び出された時にこのコマンドをセットしておくこと約10秒で自動的にリセット
します。(**HOLD** + **C** がセットしてある場合には約 5秒でリセットします。)

このモードは送信することにより解除(ロック)出来ます。

(3) チャンネルのアップ・ダウンの切り替え

HOLD + **3**

このコマンドはモニター状態からマイクの ENDキー又はREMOTEキーのアップ・ダウンの
指定をします。

表示の右が	0	ダウン	
	1	アップ	
	(2	ダウン)	640CH オール待ち受けが
	(3	アップ)	セットされている時の表示。

(4) 640CH オール待ち受け・80CH待ち受け切り換え。

HOLD + **4**

このコマンドをセットすることにより、640CH (ハーフチャンネルも含む) 全てをコール
することが出来、スキャンも640CH オールスキャンモードになります。これにより今まで出来
なかった別のバンドからのコールや待ち受けが出来、ハーフチャンネルにも自動的に移ります。

表示の右が	0又は1の時	オール待ち受け解除 (スキャンは80CH×2-2=158CH)
	2又は3の時	オール待ち受けセット (スキャンは640CH)

例) **HOLD** + **3** . **4** (続けて押した) = **1 3**

..... チャンネルアップモード、640CH オール待ち受け。

(5) ATIS信号のカット。

HOLD + **5**

表示の2桁目が5

この操作により1分に1回のATIS信号をカットすることが出来ます。
もう一度同じ操作で、解除出来ます。(表示の“5”が消える)

(6) モニターサーチ時の群番が合っているかの確認。

HOLD + **6**

表示の3桁目が6

このコマンドはモニターサーチの時、自分の群番号と相手の群番号とが合っているかを確認しながらサーチします。1～8局待ちのまま出来ますのでグループ探しに便利です。又群番号が一致しますと、自動的にその群番号に変わりますので待ち受け数が変わります。

もう一度サーチする時にはメモリーの待ち受け数を直して下さい。

(7) あきチャンネルサーチ。

HOLD + **7**

表示の4桁目が7

このコマンドをセットしてモニタースキャンさせると、あいているチャンネルで止まります。速くで使用している場合や、ブレークタイムの時などに止まる場合がありますので確認してからチャンネルを使用して下さい。

又、MON キーで再度スタートします。

※ 便利な使い方

HOLD+6とHOLD+7を両方セットし、待ち受けなしにしてスキャンすると、あきチャンネルで長く止まっているのであきチャンネル探しに便利です。

※ HOLD+5～HOLD+7は、必要なものすべてをセット出来ます。
全部セットすることも可能です。

(8) 相手の群番号の吸い取り。

HOLD + **HOLD**

このコマンドはコピーしたい群番号が表示された時に操作します。

このコマンドにより、メモリー9のように相手により群番号が変わってしまうということがありません。

又、相手の群番号は使用中のメモリーにコピーされてしまいますので、消してもよいメモリーに切り替えてから操作して下さい。

特殊群番号でもコピー出来ます。

(9) その他のコマンド

HOLD + **0**

動作音が小さくなります。
二度目で消えます。

HOLD + **9**

動作音通常(大)。

※ 深夜の音は控え目に！

HOLD + **C**

モニタースキャンのスピードが速くなります。
又、キー入力待ち時間も短くなります。

HOLD + **CH**

スキャンスピードがもとにもどります。

CH

群番号表示からのチャンネル表示。

HOLD + **REMOTE**

ノーマルにもどります。

チャンネルの表示方法

例) **1 451** ノーマルバンドの 45CH+0.5CH (ハーフチャンネル)

3 12 ダブルダウンバンドの 12CH

このようにハーフチャンネルの場合は表示の右が1になります。

26840